

商工会創立 30年を祝う

大野町商工会創立三十周年を祝う、記念式典が、十月二十二日、開念寺支坊で、およそ百人の関係者が参席して盛大に行われました。式は午後二時から始まり、竹内会長のあいさつ、功労者二十九人の表彰、大会スローガンの確認、各来賓のお祝いのあいさつで閉会しました。

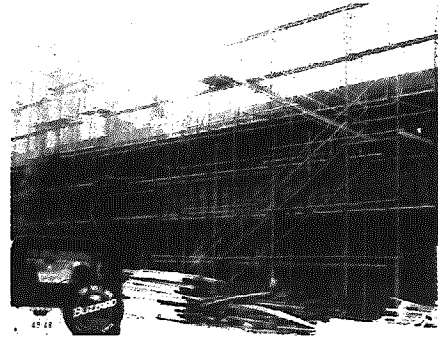


あいさつを行う竹内会長

この後、懇親会にうつり、盃をくみかわしながら、当時の商工会の様子などを思い起し、談話にふけていました。また当会では、この創立三十周年を記念して、記念誌「あゆみ」の発刊を計画しており、十二月上旬ころには刊行の予定だそうです。

大野小改築工事 順調に進む

大野小学校の増改築工事は、およそ二億九千万円を投入して、七月から高建組によって工事が進められていました。取り壊された旧木造校舎は、昭和八年に建設されたもので、すでに四十七年を経過。老朽化が著しく、今回改築の運びとなったものです。この棟は普通教室十二室のほか資料室二室も計画され、来春の竣工をめざし、順調に工事が進められています。



建築物に関する
確認申請手数料がアップ

床面積の合計	手数料の額
30㎡以内のもの	3,000円 (改正前 1,500円)
30㎡を超え 100㎡以内のもの	5,000円 (改正前 3,000円)

建築基準法施行令が改正され、建築物確認申請手数料が、昭和五十五年十月一日から、次のとおり改正になりましたので、お知らせいたします。

交通安全教育車訪れる

去る十月二十九日、寺地保育所で新潟県警察本部の交通安全教育車「ゆきつばき号」が訪れました。この教育車は、現在全国に数台しかなく、今年八月県警に配備されたもので、交通安全機器を満載し、要請があれば県内くまなく出動するというしるもの。このたび寺地保育所を訪れ約一時間にわたって交通安全指図が腹話術や、指人形、映画などを用いたわかりやすい説明に幼児たちは、真剣に聞き入っていました。この日は父兄も参加し、一瞬にして不幸のどん底に突き落とす交



指人形に幼児も大喜び

通事故の恐ろしさ、交通安全教育の大切さを改めて考えさせられたようでした。

献血にご協力を

十月二十七日役場第一委員会室において、黒埼町献血友の会推進委員会を聞き、昭和五十五年冬期間の献血実施日程がまじりました。別表の日程に従って高等学校・事業所・役場前で行いますので一人でも多く協力下さるようお願いいたします。

献血日程表

日	会場	時間
11月12日	A 日本道路公団会が管理局新潟管理事務所 P 新潟県警察本部交通部運転免許課	9時30~11時30分 12時30~3時
12月8日	A 新潟県経済連下越総合事業所 P 大平興業株式会社新潟支店	9時30~12時 1時~3時
23日	A 新潟スバル自動車株式会社 P 横口家具製作所	9時~12時 1時~3時
9日	A 新潟県立黒埼高等学校 P 山下京具工業株式会社	9時30~3時 9時~12時
26日	A 東邦天然ガス株式会社 P 新潟日産モーター株式会社	1時~3時 9時~12時
5日	A 吉川建設興業株式会社 P 西濃運輸株式会社	1時~3時 9時~12時
10日	A 黒埼町役場 P 新潟小松株式会社	1時~3時 9時~12時
12日	A 新潟小松株式会社 P 黒埼町役場	9時~12時 1時~3時
16日	A キヤタピラ三興株式会社 P 新潟高圧工業株式会社	9時~12時 1時~3時
26日	A 三國コカ・ラボリング株式会社 P 堀之内岳建設株式会社新潟工場	9時~12時 1時~3時

この期間中にネズミを一掃し快適な町づくりに参加しましょう。

暴風雨にたたられた「文化祭」

十月二十五・二十六日の両日、黒埼中学校を主会場に、例年より一週間早く行われた「文化祭」は、あいにくの暴風雨にたたられ、出足をそがれたが、年一回の文化祭とあって、少しの晴れ間を見つけて、観覧者もしだいに多くなり校内の各教室には、中学生徒の創造性豊かな数々の力作をじっくりと観賞していました。

人気を集めた 不用品販売コーナー

また、消費生活推進委員会が行った「不用品販売コーナー」には主婦などから人気を呼び、ストンプ、衣類、食器類など、各家庭に



売れ行き上々不用品販売コーナー

眠っていた、五百点余りの出品即売されたが、超格安のため売れ行きは好調。展示された七割がそれぞれ引き取られていきました。買った人、売った人は「来年も是非このコーナーを設けてほしい」と話していました。

菊の香におう

十一月二・三日には、総合体育館で、菊花展・盆栽展・小学生児童の絵画・書道の作品展が館内を色どり、秋の香りをにおわせる菊花・丹精をこめた松などの盆栽、児童が一生けんめいに書いた、絵や書道、どの作品一つをとっても甲乙つけがたいりっぱな作品に訪れた人の目を惹かせていました。

言葉づかいのいろいろ

自分を指す言葉のうち、普通いちばんよく使われるのは「わたし」で、改まって言う場合は「わたし」です。女性に多い「あたし」、「あなた」ですと、いくらか軽い感じになります。また「ぼく」は男の人が親しい間柄で使いますが、目上の人に使うのは、一方、相手を目指す言葉で、「わたし」に対応するのは「あなた」です。しかし、目上の人に向かって、「あなた」は使えないので、相手によって「先生」と呼んだり、「奥様」といったり、「所長さん」、「社長」などと職名で呼んだり、サービス業の場合は「お客さま(さん)」と呼んだり「お客さま(さん)」と呼んだり。一般的に、日本語の会話には「わたし」「あなた」とか「わたし」と言わなくて済むという特徴があります。たとえば「(あなた)はどちらへお出かけですか」「(わたし)は、あなただ」のように、カッコの部分は言わないのが普通です。ただ、人を紹介されたような場合、「山田さんのお勤め先はどちらですか」などと相手の名前をすぐ覚えて使うのは、親しみを増すうえで効果的です。一方、自分の身内は「家内、主人、老・父・娘」のように言い、相手の身内は奥さま、ご主人(さま)、お父さま(さん)、お父上、お嬢さん(さま)のように言うのは当然です。しかし、他人を呼ぶ場合でも同じ職場の人を外部の人に対して言うときは「課長の山田は」などと呼び捨てにするのが普通です。

文化祭の短歌

荒川のほとりにたむろす子供は岡の上り見えつかれつ 阿部 浄子
長き夜は眠れぬままに余世をば意識あらしめすをぞ思ふ 乙川 竹
老われを導き給ひし師の吾を思ひ浮かべて今日は何を 青木 留吉
文化祭飾らんものと雨の日に納屋にこもりて 松沢 虎男
夏の日に盛り茂りし運の業もうらふれ枯れて時雨打ち降る 青木 勇
われの師は川蒸気にて赴任すと昔語りる感懐深し 奥井 ヨ子
夫々に思い出のあり虫干の和服に触れつ二日過しぬ 西海なみ子
いと小さき事に気を病むことなればバスにおくれれば時間空費す 柏 直樹地
日本の徳芒折るに手間とら吾が好む故人にも配る 酒井 庄平
新しき職場に勤めしもいつかなくなりて家族ばかりの刈上げするも 平松清次郎
客を招ぶ習はしもいつかなくなりて家族ばかりの刈上げするも 小出美喜子
風冷ゆる川辺の葦の群れる穂に鮎とる舟のモーター響けり 小出美喜子

たばこも施設 づくりに一役

あなたは毎日喫っているたばこは、どこで買いますか、勤務先のたばこ店で買いますか、それともお住いの近くのたばこ店で買いますか。たばこ消費税は町内のたばこ店で販売された、たばこの売上本数によって計算され、専売公社から町に納税されている地方税の一つです。もし、あなたが他の市町村に勤め先があつてその近くのお店から毎日買っているとする、それはよその市町村に納税しているということになるのです。昨年度、黒埼町では四九、一九四、六〇本のたばこが売られて税金として六一、三三〇千円が納税されました。そのお金は、道路舗装や学校建築等に有効に使われて、町の施設はどんどん立派になってきています。みなさん、たばこは是非お住いの近くか出勤中の地元のお店から買おうようにしましょう。

十一月は振替納税 推進月間です

町では今月を振替納税推進月間とし、みなさんのご協力をお願いしております。ご存じのようにこの納税制度はみなさんが利用されている電気・ガス・電話料や国民年金などと同じように税金も預金口座から自動的に納税することが出来る制度です。まだ利用されていない方は、振替帳簿を郵送していただいたり、これを機会に是非あなたも便利で確実なこの振替納税を利用されるようおすすめていたします。